

平成 2 1 年度

河合町教育委員会事務事業評価報告書

河合町教育委員会

教育総務課関係

教育委員会の会議、規則等の規定改廃に関すること	A
-------------------------	---

教育委員会定例会開催 7 回・規則改正 6 件・要綱制定 1 件
委員研修並びに学校訪問等行事への出席

- ・ 定例会開催により規則等の改廃を含め 24 件の議案が審議された。
委員研修 2 回、学校訪問、入学（園）式、卒業（園）式、運動会、
町民体育大会、成人式等行事へ出席した。

児童生徒の就学、入学、転出入に関すること	A
----------------------	---

就学前健康診断 11月 127名
転入・転出 転入 28件・転出 29件・区域外就学 19件・指定校変更 5件
準要保護・特別支援児童生徒就学援助費
小学校 99名 ・ 9名
学用品費・通学用品費・校外活動費・修学旅行費・給食費
6,496千円 ・ 319千円
中学校 39名 ・ 3名
学用品費・通学用品費・校外活動費・修学旅行費・給食費
3,989千円 ・ 132千円
就学指導委員会開催 2回

- ・ 平成 22 年度就学予定の児童生徒について、実態や保護者の思いなどを勘案し
て、就学に関する方針を協議決定した。
また、就学が困難な児童生徒の保護者に対し、必要な援助を行った。

学校の組織・学習及び生徒指導に関すること	A
----------------------	---

スクールカウンセラーとの連携 ・ 生徒指導体制の充実
社会科副教材「わたしのふるさと河合町」 毎年 3 年児童配布
学校評議員の充実 委嘱 小学校 10 名 中学校 9 名
小学校英語活動の推進 ・ 国際教育の推進（ALT 派遣）
読書活動の推進

- ・ スクールカウンセラーとの連携することで、児童生徒の問題行動等の解決が図
られた。
読書活動の推進により、授業への集中力が高まり学力の向上が図られた。

施設設備の整備に関すること	B
---------------	---

耐震補強
第二小学校屋内運動場
実施設計・監理業務 (株)北和設計コンサルタント
2,344千円
補強工事 (株)豊国 18,217千円

耐震二次診断

第二小学校管理棟・校舎 3 棟

設計管理 (株)都市企画設計コンサルタント

総事業費 19,868 千円

第一中学校管理棟校舎

設計管理 (株)都市企画設計コンサルタント

総事業費 4,897 千円

その他一般営繕関係 20,363 千円

備品購入並びに図書費 53,856 千円

- ・ I S 値 0.3 以下の耐震補強工事を行った。
学校 I C T 環境整備事業により、2011 年テレビ放送デジタル化に対応するため、幼稚園、小中学校教育用テレビの整備を行った。また、校務用・教育用パソコンの整備も併せて行った。
理科教育整備事業により、新学習指導要領に基いた指導が確実にかつ適切になされるよう新たに必要となった理科教材の整備を行った。

児童生徒・教職員保健事業に関すること	A
--------------------	---

学校医・歯科医・薬剤師 各 1 名 事業費 1,942 千円

児童生徒健康診断（結核・心電図・尿・ぎょう虫）

教職員健康診断（胃がん・結核・心電図・聴力・血液・尿検査）

葛城地区結核検討委員会 判定児童生徒 11 名

（財）日本体育学校健康センター保健事業

基本的な生活習慣の推進

- ・ 学校保健安全法、結核予防法に基づく検診等を行い教職員、児童、生徒の健康管理の徹底を図り、良好な教育環境の保全にも努めた。

学校給食に関すること	B
------------	---

給食調理員研修実施 年 4 回

抜き打ち食材検査実施 年 1 回

6 食材 農薬検査（冷凍インゲン）・一般生菌類（冷凍むきえび）

カンピロパウダー（鶏肉）・サルモレラ（卵）

O-157（ミンチ肉）・大腸菌郡（もやし）

学校給食献立会議 月 1 回

学校給食委員会 年 2 回

- ・ 調理員の研修、食材等の衛生管理、献立会議の実施、給食委員会の開催など学校給食の充実は図られた。
給食運営については、栄養バランスのとれた献立で魅力ある内容とし、食材は安全で安心なものを使用し、地元の食材も一部使用した。また、季節感を子ども達に感じてもらうため、旬の食材も取り入れた。

社会教育関係

社会教育施設の管理運営	B
公民館の管理運営 建物清掃委託：2,173 千円、 浄化槽・排水管清掃委託：1,289 千円、各種点検管理委託：1,266 千円 年間利用者数 39,039 人	
社会教育の振興	B
社会教育委員会議 2 回開催 社会教育関係団体の支援 郷土を学ぶ会、子ども会連合会、ガールスカウト ボーイスカウト、PTA 連合会、人権教育推進協議会、人権教育研究会 婦人会、盆栽会、文化協会、体育協会、スポーツ少年団、おはなし会 ふるさと河童合唱団	
青少年の健全育成	B
青少年健全育成連絡会 2 回開催 夏休み夜間巡回 4 回、各小・中学校挨拶運動（9 月） 有害図書等立入巡回啓発指導 「子ども 110 番の家」の旗配布 協力家屋 428 軒：費用 142 千円 かわい寺子屋教室（7 回）参加者 42 名：経費 240 千円 親と子の体験教室（7 回）参加者 66 名（32 組）：経費 178 千円 ふるさと河合絵画コンクール 出品数 177 点 （11 月 5 日～19 日：公民館で展示）：経費 16 千円	
生涯学習機会の提供	A
町民大学 ・ 公民館文化講座（7～14 回）受講生 220 名【書道（漢字） 着付、陶芸、料理、子ども絵画、絵手紙、男の料理、社交ダンス、写真 古典、健康ヨガ、アレンジメントフラワー、大正琴、ハワイアンフラ】 ：経費 987 千円 ・ 生涯学習セミナー（8 回）受講生 23 名：経費 90 千円 ・ 歴史セミナー（8 回）受講生 56 名：経費 10 千円 ・ 遺跡学セミナー（9 回）受講生 18 名 ・ パソコン講座 6 コース開催：受講生 57 名：経費 412 千円	
人権教育の推進	A
啓発推進本部 1 回開催 第 21 回「人権を確かめあう日」県内一斉集会への参加（河合町） なら・ヒューマンフェスティバルへの参加（川西町）：経費 130 千円 差別をなくす町民集会 人権映画「ヘレンケラーを知っていますか」 （7 月 11 日）：参加者 396 名：経費 224 千円 人権教育推進協議会 総会、事務局会の開催、研修会への参加	

県人権教育推進協議会研究大会（参加者 8 名） 県人権教育推進協議会
 ブロック別研修会（参加者 5 名） 郡人権教育推進協議会研究大会
 （参加者 25 名）：経費 372 千円
 現地人権学習会 4 回（「奈良坂」から「ならまち」（奈良市））
 参加者 91 名：経費 41 千円
 識字学級 週 1 回（2 時間）受講生 4 名：経費 50 千円

文化財の保存に関すること	B
--------------	---

史跡大塚山古墳群買上事業 大塚山古墳の買収：459 m²：経費 10,062 千円
 文化財展 10 文化財展示室の公開（10月31日～11月8日）
 史跡ナガレ山古墳の維持管理 管理委託：1,397 千円
 「文化財防火週間」実施事業 文化財防火訓練（廣瀬神社）：参加者 15 名
 （神社関係者、消防団）
 写真展「河合町の祭り」 砂かけ祭りと町内の他の祭りを紹介
 （2月6日～3月26日）：経費 120 千円

主催事業、式典	B
---------	---

成人式 記念演奏（中学生による吹奏楽） 記念写撮影：出席者 151 名
 （出席率 80%）：費用 266 千円
 文化祭（文化協会と共催） 作品出展 27 グループ、舞台発表 17 グループ
 ：費用 1,050 千円

社会体育関係

事業の企画実施	A
---------	---

基本方針として、住民の健康維持、体力の増進を図り住民の交流を深めるため社会体育活動の展開を進め既存施設の維持管理や学校体育施設の開放を進めて関係団体や指導者の育成に努める。体育事業に関しては、参加者の高齢化・固定化や内容のマンネリ化が問題であり、ニュースポーツなどの種目を積極的に取り入れて住民にアピールしている。また、施設の備品や参加者の確保が困難になっている状況下で、体育行事は住民の理解や体育協会の協力を得て、行事の継続に勤めなければならない。

施設の設定・管理	B
----------	---

施設の使用料は徴収しています。(減免3分の1・子供の団体は無料)また、財政状況を考えると減免を見直す必要がある。施設の老朽化が進み、修繕にかかる経費が高額になる中、僅かな予算措置となっている。計画的に施設補修を考える必要がある。

設備・機材の充実	B
----------	---

一定のものは整備されているが、老朽化が進み計画的な入れ替えが必要である。

体育協会	A
------	---

年間行事が多く事業的には充実しているが、高齢化が課題であり参加者の固定化や内容の見直しが必要である。スポーツ少年団も子供が少なく存続が難しい状況である。

町民体育祭	B
-------	---

地域対抗種目は熱の入った応援が見られるが、大字選出や、子供の減少で選出が難しい地域もある。高齢化も影響があり種目の見直しも必要である。全体としても参加者減少傾向にある。今後の体育祭のあり方が課題である。

町民プール	A
-------	---

町民プールは、21年にリニューアルオープンし、7月中旬から8月末まで開場した。連日子供達からは歓声があがり、高齢者もプール内で歩く方、遊泳する方で賑わいました。しかし安全対策が課題である。

体育指導委員	A
--------	---

体育指導委員15名で活動しています。町民のニーズに応えた運動や・教室・体育館開放などの事業を年間通じて行っています。参加者の高齢化が課題であり、今後の活動内容を見直す必要がある。体育指導委員会を年間7回開催し学習プログラムを組んであらゆる情報を得ています。

社会教育関係

文化会館まほろばホ - ル管理運営	B
-------------------	---

若々しい創造力にあふれたまちづくりを進めるため、地域社会の活力と文化を生み出すための場として平成4年からオープン致しました。大ホール・小ホール・研修室があり、小ホール・研修室は年間を通じて利用されています。しかし、施設の老朽化が進み計画的な補修が必要である。

年間利用者数 31,415 人

図書館	B
-----	---

生涯学習施設の一つとして、広く「本との出会い、人との出会い」を大切に、住民の様々なニーズに応え、地域ボランティアとの連携した事業の推進、また色んな情報提供の拠点として、子供からお年寄りまで、気軽に立ち寄っていただけるような図書館を目指している。事業として定例お話し会（年間4回）人形劇（年1回）を開催して子供と本の結びつきを高めている。

登録人数 20,410 人 貸出人数 20,026 人 貸出冊数 62,611 冊

評価の基準 A：満 足
B：ほぼ満足
C：要 改 善

意 見

今年度の事業についての自己評価は、適正な評価であると考えられます。

事業内容では、学校耐震化事業、デジタルテレビやパソコンの整備等、学校施設整備の充実が見られます、今後も耐震化等の施設整備や新学習指導要領の全面実施に対応できる教育環境整備が必要であり、また、計画の段階で達成状況の点検スケジュールを入れるというような評価の工夫や、各事業の内容とその課題をあげての評価点検方法を検討していくことも必要であると考えます。

なお、報告書の作成時期は次年度の2月頃では、事業計画に反映させるのに2年遅れになってしまうので、次年度の8月末めどに作成しなければならないと考えます。

最後に、河合町の教育のさらなる充実を期待しています。

元河合町立河合第一中学校
校 長 増 田 善 一